

## ICT を活用した先駆的なアクティブラーニングを体験してみよう！

日時：2016年11月24日（木）15:30～17:00  
会場：本学図書館 Leaf-C3（図書館 2F）  
対象：本学 教職員の皆さま  
（事前の申し込みは不要です）



教育における ICT（情報通信技術）の活用は、学生たちの授業への関心を高め、分かりやすい授業や学生の主体的・協働的な学び（いわゆる「アクティブラーニング」）を実現する上で効果的であり、学生が能動的に知識を組織化するような学習活動が促進されることが期待されます。

今回のFD研究会では、4名の講師をお招きし、ICT を活用した教育環境の改善に関する先進的な取組の事例をご紹介します。

### プログラム概要

15:30～16:15 「意外なリアクションが面白い。生徒も教員もワクワクする、理想の学び場がここにある。スマートフォンアプリ“respon（レスポン）”を使った、意見をリアルタイムに共有する「全員参加」授業の事例紹介」

【講師】株式会社朝日ネット 森田 真基氏  
株式会社エデュース 瀬川 保宏氏

16:15～17:00 「スマートデバイスを活用したアクティブラーニングの実践」

【講師】株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ  
川瀬 誠氏、藤木 健氏

質疑応答

問い合わせ先：札幌学院大学 FD センター事務局 教育支援課 Tel (011) 386-8111 代  
松本（内線 3210）、北（内線 3227）

## 平成28年度第2回FD研究会 講演概要

### 【講座内容】①

講演者	株式会社朝日ネット 森田 真基氏 株式会社エデュース 瀬川 保宏氏
テーマ	「意外なリアクションが面白い。生徒も教員もワクワクする、理想の学び場がここにある。スマートフォンアプリ“respon（レスポン）”を使った、意見をリアルタイムに共有する「全員参加」授業の事例紹介」
内容	respon は教員と学生で「リアルタイム」かつ「活発な」コミュニケーションをしていただくことを目的に開発されました。出席確認にご利用いただけるだけでなく、学生の理解度や意見をリアルタイムに集計・可視化・配信することで、学生に授業への関与を促し、「ライブ感あふれる授業」を実現します。 また、respon を活用した小樽商科大学の取り組みが第12階日本E-Learning 大賞アクティブラーニング部門賞を受賞しました。学生個人のスマートデバイスを使った参加型の授業が実現されただけでなく、スマホ世代の特徴（フリックによる高速な文字入力や高速なアプリ操作、そしてリアル・コミュニケーションとバーチャルなコミュニケーションの行き来のスキル）が参加型授業（アクティブラーニング）と高い親和性があることが証明されました。

### 【講座内容】②

講演者	株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ 川瀬 誠氏 株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ 藤木 健氏
テーマ	スマートデバイスを活用したアクティブラーニングの実践
内容	授業における学生の発言機会を増やすアプローチ方法として、スマートフォン、タブレットまたはパソコンといった日常生活で利用しているデバイスを活用します。普段使い慣れたデバイスから簡単な操作で意見を発信するとともに、操作可能なオブジェクトとしてパソコン上に表示された意見を参加者全員で共有し分類し討議を繰り返すことでアウトプットとしてまとめあげる一連のプロセスを支援します。また、これらのしくみは学生のみならず教職員の様々な活動にも有効に活用できるものです。 <特長> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使い慣れた自分の機器を利用できる</li> <li>・簡易な操作、シンプルな機能で利用者の負荷が低い</li> <li>・利用者が工夫することで自分のスタイルを反映させ易い</li> </ul> <期待効果> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の発言機会を増やす（他者の視点強化）</li> <li>・input/transform/output のプロセス全体を支援</li> <li>・受講場所に影響されない（遠隔から参加、心身の制約軽減）</li> </ul> など